

施策	3-1-1	開かれた学校教育の推進
----	-------	-------------

D i a n 【計画】	No.1	学校と地域との協働						所管	教育指導課
	目的	社会全体で児童生徒の健やかな成長を支えていくため、開かれた学校を目指し、家庭や地域社会と一体となった学校づくりを目的とします。 多様な体験活動や交流事業を通じて自然や人との関わり方、豊かな人間性や社会性、協調性等を育てていきます。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
	学校地域連絡会の開催	年間開催数	各校 2回程度	各校 3回程度	各校 3回程度	各校 3回程度	各校 3回程度	各校 3回程度	継続実施

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、教職員、保護者、地域代表者からなる「学校地域連絡会」を開催し、学校と地域の関わり方や連携の仕方についての情報交換、通学路の安全確保、災害・防犯対策、児童生徒の見守りなど、様々な課題について協議を重ね、共通理解を図りました。 ・保護者や地域の方が気軽に来校し、学校の様子や授業を参観する「学校へ行こう週間」を10月下旬頃から約2週間実施しました。 ・教育委員会では、各校の学校地域連絡会の代表者からなる「伊勢原市学校・地域連絡調整会議」を1回開催し、各校の取組について情報交換を行いました。 								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・各校学校地域連絡会は、各校の年間計画にも位置づけられており、計画どおり実施されています。学校・家庭・地域をつなぐ重要な機会となっています。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・学校地域連絡会を開催することで、学校についての理解が進み、家庭・地域の協力のもと児童生徒の教育環境の整備や充実、安全確保等が図られています。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・教育委員会が実施している「伊勢原市学校・地域連絡調整会議」は各学校地域連絡会と情報共有をする重要な場となっています。	

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会全体で児童生徒の健やかな成長を支えていくため、開かれた学校を目指し、家庭や地域社会と一体となった学校づくりを目的とします。 	

施策	3-1-1	開かれた学校教育の推進
----	-------	-------------

P l a n 【計画】	No.2	学校からの情報発信						所管	教育指導課 (教育センター)	
	目的	学校から情報を積極的に発信することで、保護者、地域住民との連携や協力の推進を図ることができます。情報を発信するための手立てとして学校Webサイトがあります。情報アドバイザーを学校へ派遣することにより、学校Webサイトの更新、維持、管理の支援を行います。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	情報アドバイザーの派遣	年間派遣日数	90日	90日	90日	90日	90日	90日	継続実施	

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	・学校Webサイトの運用に関するアドバイザー業務を委託し、各学校の情報発信を支援しました。								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	B	B	B	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要

・学校からの依頼を受け、情報アドバイザーによる支援を行いました。

・各学校において、校務支援ソフトの活用を円滑に行ったり、情報発信を行ったりする上で欠かせない事業となっています。

・学校からの依頼に対し校務が滞らないように、情報アドバイザーの業務委託を4月から行うことができるよう改善しました。

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・校務遂行に加え、教育活動においても情報化が加速度的に進む状況において、教育活動の充実と教職員の多忙化解消の観点から、ICT支援の充実を図る必要があります。	

施策	3-1-5	保護者や地域と連携した通学路の安全対策
----	-------	---------------------

D i a n 【計画】	No.1	小中学校通学路の安全対策						所管	学校教育課	
	目的	児童生徒が安心して学校生活を送るため、地域が一体となって児童生徒の登下校中の見守りや、通学路の安全点検を行います。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	通学路点検及び危険箇所 の改善	実施校数	継続実施	14校実施	14校実施	14校実施	14校実施	14校実施	継続実施	

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	<p>・教育振興基本計画に位置づけた重点取組として、地域、PTA等の協力のもと、学校ごとに通学路を点検し、その改善要望に基づき、通学路等整備促進検討会や関係機関と連携して通学路の改善整備等を実施しました。</p>								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・小学校10校、中学校4校で、PTAや教職員等が児童生徒の立場に立って通学路を確認し、改善箇所の確認や点検を行いました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・地域(自治会)やPTA、教職員、市、警察が通学路現場において、改善箇所や問題点を共有できました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・通学路の現場にて、PTA等や学校との意見交換や市担当者や警察から改善点のアドバイス等ができるため、効率的な事業となっています。	

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・引き続き、すべての小・中学校で毎年、通学路点検を実施し、改善箇所の要望内容に基づき優先的に改善されるように図ってきます。</p> <p>・点検は、学校・行政のみならず、保護者やPTA、自治会などと合同で実施することで地域ぐるみで安全対策を考えていきます。</p> <p>・危険箇所、改善を要する箇所については、警察署や国県の道路管理部門と連携を図り取り組んでいきます。</p>	

施策	3-2-1	家庭の教育力向上に向けた支援
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	訪問型家庭支援事業 (旧:地域の多様な人材を活用した家庭教育支援事業)						所管	教育指導課 (教育センター)	
	目的	児童生徒が安心して学校教育が受けられるよう、教育分野に加え社会福祉に関する専門性をもったスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、児童生徒と児童生徒を取り巻く環境への支援を行います。								
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 (29年度迄に)	
	家庭や子どもを支援するための中心となる連絡会等の設置	設置学区数	0学校区	1中学校区	1中学校区	全市域 (4中学校区)	全市域 (4中学校区)	全市域 (4中学校区)	2中学校区	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの要請を受け、児童生徒と児童生徒を取り巻く環境の状況把握を行い、スクールソーシャルワーカー(SSW)による家庭訪問や他機関との連携による支援などを行いました。 学校の要望に応じて、スクールソーシャルワーカー(SSW)による巡回訪問を計画的に実施し、課題の早期発見・早期対応に努めました。 スクールソーシャルワーカー(SSW)による訪問回数:342回								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの依頼を受け、スクールソーシャルワーカー(SSW)が迅速な対応を行うとともに、必要に応じて、教育相談員や指導主事との協働による支援を行いました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	<ul style="list-style-type: none"> 多用化・複雑化するケースが増加傾向にあり、スクールソーシャルワーカー(SSW)と教育相談員・指導主事の各専門性を生かした的確な支援に努めました。 	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	<ul style="list-style-type: none"> 巡回訪問は、学校毎に気になる児童生徒の状況を把握することができ、学校における早期発見・早期対応の一助となっています。 	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> 件数の増加に加え、課題が多用化・複雑化していること、解決には継続的な支援が必要であることなどから多くの時間を要するため、スクールソーシャルワーカー(SSW)の増員が必要です。 	

施策	3-2-1	家庭の教育力向上に向けた支援
----	-------	----------------

D i a n 【計画】	No.2	教育講演会の開催						所管	教育総務課	
	目的	PTAや市の子育て部門等と連携し、今日的な教育課題や家庭教育等について考える講演会を開催することにより、家庭の教育力向上を図ります。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
		教育講演会の開催	参加者数	700人	833人	655人	718人	701人	640人	800人

D o 【実行】	平成29年度の実行内容	
	<ul style="list-style-type: none"> 日時:平成29年8月22日(火) 午後2時から4時 会場:伊勢原市民文化会館大ホール テーマ:家庭における子どもの読書活動の推進～家族で楽しむ読書のすすめ～ 講師:佐川 二亮氏 	

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・計画どおり講演会を開催することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・教職員及び保護者が一堂に会した講演会を開催することができ、家庭での読書活動を推進するための契機として有効な機会となりました。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・効率的な事業運営を図ることができました。

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・有意義な講演会になるよう引き続きテーマ設定や内容の切り口を工夫します。	

施策	3-2-1	家庭の教育力向上に向けた支援
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.3	家庭教育講演会の開催						所管	社会教育課	
	目的	PTA等との連携により講演会を実施し、子育て中の家庭と学校、地域とのかかわりや家庭教育について考える機会を持つことにより、家庭の教育力の向上を図るとともに、地域全体で子どもを育てる意識を醸成することを目的とします。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄に)	
	家庭教育講演会の開催(4中学校区合計)	年間開催数 参加者数	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	継続開催
			460人	502人	471人	476人	478人	480人		

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容									
	<ul style="list-style-type: none"> 市内4中学校区において、小・中学校PTA、青少年健全育成協議会、公民館等が実行委員会を組織し、地域全体で家庭教育について考え、支援するための機会として「家庭教育講演会」を開催しました。 参加者からは、「わかりやすかった」「普段の生活を見直すよい機会となった」などの意見をいただきました。 									

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・各中学校区において、PTA会員をはじめ、多くの参加者を得て開催することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・PTA等との連携により事業を実施することで、参加者のニーズに応じたテーマや講師を選定し、実施することができました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・PTAと公民館とが連携し、役割分担することにより、効率的に事業を運営することができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の教育力の向上を図るとともに、地域全体で子どもを育てる意識を醸成するためには、PTA等の参加団体が、それぞれ自主性・主体性を発揮できるように支援していく必要があります。 	

施策	4-1-1	安全・快適な学校施設への改善
----	-------	----------------

D i a n 【計画】	No.1	小中学校校舎屋上・外壁の修繕					所管	教育総務課		
	目的	建物の劣化を抑制し、児童生徒の安全を確保するため、小中学校校舎の屋上防水の更新、並びに外壁の落下防止及び塗装を行います。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	屋上防水又は外壁の修繕が必要な施設28棟のうち、全面的な修繕工事が完了した棟数(累計)	棟数	0棟	8棟	17棟	18棟	20棟	21棟	15棟	

D o 【実行】	平成29年度の実行内容								
	<p>・小学校1棟の外壁修繕を実施しました。 実施箇所: 大山小学校校舎 工事費: 29,282,040円 (財源内訳: 国庫補助金9,755,000円、市債19,200,000円、一般財源327,040円)</p>								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	B	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画計画全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・計画どおり校舎の屋上及び外壁の修繕を実施できました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・校舎の老朽化対策の推進とともに、児童生徒の安全確保を図るためには有効性は高いです。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・国庫補助を活用し、集中的に屋上と外壁の一体的な修繕が実施できました。	

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・屋上及び外壁の修繕に関しては、トイレ改修工事を優先的に行うという方針により、必要に応じて応急的な修繕を行っていきます。</p>	

施策	4-1-1	安全・快適な学校施設への改善
----	-------	----------------

P l a n 【計画】	No.2	小中学校施設の改修						所管	教育総務課	
	目的	学校施設の機能・性能の向上を図る改修を行い、安全で快適な学習環境の確保と、災害時の避難施設としての充実を図ります。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	トイレの洋式化	大便器数のうち洋式便器が占める割合	39.6%	48.6%	49.7%	49.7%	49.7%	55.16%	50.0%	

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3棟のトイレ改修及び中学校1棟の転落防止手すり設置工事(教室窓等)を実施しました。 トイレ改修実施箇所:山王中学校3期校舎、成瀬中学校3期校舎、中沢中学校西校舎 転落防止手すり設置実施箇所:山王中学校2期校舎 ・工事費:138,511,080円、監理業務:4,147,200円 (財源内訳:国庫補助金47,580,000円、市債93,500,000円、一般財源1,578,280円) 								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	B	B	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要

・平成29年度に中学校3校の校舎トイレの改修を行うことで計画どおりに進捗しています。

・校舎トイレの改修と洋式化を進め、児童生徒が使いやすい快適な施設となり有効性は高いです。

・事業の実施に当たっては、国庫補助事業を活用し、効率的に実施するよう努めています。

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助事業の動向に注視しながら、トイレ改修工事を優先的にを行う方針に基づき、トイレ全面リニューアル工事の実施に向けて取り組んでいきます。 	

施策	4-1-1	安全・快適な学校施設への改善
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.3	小中学校教室への扇風機設置						所管	教育総務課
	目的	児童生徒が常時使用するホームルームに扇風機を設置し、児童生徒の健康管理と授業に集中できる環境の確保を図ります。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
	扇風機設置	小学校への設置状況	15.8%	100%	平成25年度に目標達成	平成25年度に目標達成	平成25年度に目標達成	平成25年度に目標達成	100%
	扇風機設置	中学校への設置状況	31.1%	100%	平成25年度に目標達成	平成25年度に目標達成	平成25年度に目標達成	平成25年度に目標達成	100%

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	・平成25年度に全小中学校の普通教室への扇風機設置が完了しました。								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・平成25年度に各校への扇風機設置を完了することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・児童生徒の健康管理及び授業に集中できる環境の向上に有効です。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・事業の効率的な実施ができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き児童生徒の快適な学習環境の確保に努めます。 今後の計画の中で、エアコン導入の検討を進めていきます。 	

施策	4-1-1	安全・快適な学校施設への改善
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.4	基金を活用した教育・文化の振興						所管	教育総務課	
	目的	教育に関する諸課題に対し、支援・応援してくれる市民、団体等からの寄附金を活用し、教育・文化の充実を図ります。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	基金の創設及び運用	実施状況	条例制定準備	基金創設運用開始	活用	活用	活用	活用	基金創設運用開始	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・伊勢原市まちづくり市民ファンド(まちづくり応援寄附金)を活用し、山王中学校の階段手すり設置工事や教育研究事業・教育相談事業を実施しました。</p> <p>【活用状況】</p> <p>・山王中学校階段手すり設置工事 3,391,000円</p> <p>・教育研究事業・教育相談事業 4,000,000円</p> <p style="padding-left: 40px;">合計 7,391,000円</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	B	B	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・伊勢原市まちづくり市民ファンドの制度が浸透し、教育環境の整備に役立っています。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・財源確保が厳しい中、市民の浄財が有効に活用されています。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・制度の効率的で有効な運用が図られています。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・今後も継続的に基金を活用しながら教育・文化の振興を図ります。	

施策	4-1-1	安全・快適な学校施設への改善
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.5	学校環境衛生検査の実施						所管	学校教育課
	目的	学校環境衛生検査を実施するとともに、必要な改善措置を講じることにより、児童生徒が意欲的に学習に取り組める衛生環境を保持します。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
	環境衛生検査の実施	年間実施回数	1回	1回	1回	1回	1回	2回	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> ・教室内の空気、化学物質、照度、飲料水質等の環境衛生検査を実施しました。 ○検査項目:ダニ、化学物質(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン)、照度、騒音、空気(CO、CO2、NO2、気流)、飲料水 ○検査結果:いずれの項目も基準値又は定量下限値以下 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画どおり ○ 概ね計画どおり ○ 計画どおり進捗せず
	A	・計画どおり、全小中学校で全検査を実施することができました。
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ● 高い ○ 普通 ○ 低い
A	・いずれの項目も基準値又は定量下限値以下であることが確認できました。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ● 効率的に実施された ○ 改善の余地がある ○ 抜本的な改善が必要 	
A	・学校薬剤師が検査を実施し、又は指導を行い、検査結果について各校に助言を行うことで、学校環境衛生の維持・向上に役立っています。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・引き続き学校環境検査を実施し、児童生徒が意欲的に学習に取り組める衛生環境の保持に努めます。	

施策	4-1-2	学校における防災体制の充実
----	-------	---------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	災害時における児童生徒の安全確保						所管	学校教育課 教育指導課	
	目的	災害時に児童生徒が慌てず冷静に対応できるよう、日頃から防災に関する意識醸成を図り、有事に備えます。								
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 29年度まで	
	防災意識の醸成	防災訓練 実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・地震防災活動マニュアル(※1)を各小中学校に配布し、学校ごとに作成している防災計画を基に、災害時における児童生徒の安全確保に努めました。</p> <p>・総合的な学習の時間や各教科の中で、防災に関する内容を交えた授業を実施し、児童生徒の防災に対する意識の向上に努めました。</p> <p>(※1)地震防災活動マニュアル 地震が発生した場合の学校現場における防災対策活動の基本となるもので、地域の特性等を考慮した各学校の地震防災活動マニュアル作成のための基本的指針をとりまとめたもの。平成13年7月に伊勢原市教育委員会が発行し、平成23年6月に改訂した。</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・学校ごとの年間計画に従い、防災訓練等を実施することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・登校時の防災訓練だけでなく、自宅にいる際の避難行動などについても授業等で触れることができました。 ・各授業において火災予防、洪水、台風と気象災害など学習して理解を深めました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・火災時、地震発生時(初期対応や避難)の訓練、帰宅訓練、保護者の協力もとの引取り訓練等、ケースに応じた訓練を各学校ごとに取り入れています。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・災害時に児童生徒が慌てず冷静に対応できるよう、防災訓練や各教科の学習を通じて、日頃から防災に関する意識醸成を図るよう努めます。</p>	

施策	5-1-1	生涯学習への支援と多用な人材活用の促進
----	-------	---------------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	生涯学習や市民活動の情報提供						所管	社会教育課
	目的	生涯学習、市民活動団体の情報を、生涯学習活動状況が紹介された「サポートブック」に一元的にまとめ、市民へ情報提供することにより、生涯学習への支援や社会参加への窓口となることを目的としています。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
	サポートブックによる情報提供	掲載団体数	400団体	498団体の整理	472団体	1433団体	1402団体	1197団体	650団体

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	・公共施設利用予約システム中の全公民館の登録団体データを精査・更新しました。								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	B	B	B	B
	有効性	A	A	B	B	B
	効率性	B	B	B	B	B

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	有効性	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	効率性	<input type="radio"/> 効率的に実施された <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要

・公共施設利用予約システム中の全公民館の登録団体データを精査・更新しましたが、市民に提供できる情報とするまでには至りませんでした。

・整理できた登録団体の情報を、市民の学習相談などで活用していきます。

・登録内容の把握はできましたが、情報発信には更に登録データを精査していく必要があります。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・市民がより活用しやすい仕組みづくりに向けては、個人情報取扱いに関する各団体の意向確認や登録情報の適宜更新等の課題もあり、引き続き取組を継続していく必要があります。	

施策	5-1-1	生涯学習への支援と多様な人材活用の促進
----	-------	---------------------

P l a n 【 計 画 】	No.2	生涯学習の充実と人材活用						所管	社会教育課	
	目的	学習の成果を活かすことができる生涯学習を推進するため、ボランティア団体や市民活動団体等と連携し、地域で活躍する生涯学習を主導するリーダーを養成します。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	連絡調整協議会の設立・開催	進捗状況	活動団体の把握	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	協議会の開催	
	生涯学習推進リーダーの養成	延育成数	0人	2人	6人	9人	12人	15人	25人	
D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容									
	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡調整協議会については、市民大学の企画・運営等において、生涯学習ボランティア協会、社会福祉協議会、市民活動サポートセンター等と適宜調整し、情報交換はもちろん、協働での周知PRなどに努めていることから、設立・開催はしませんでした。 ・第13期いせはら市民大学・楽しい講座を、いせはら市民大学・楽しい講座実行委員会との市民協働事業として実施し、市民の学習機会を提供するとともに、生涯学習推進リーダーの養成等に努めました。 ・いせはら生涯学習ボランティア協会構成団体:いせはら観光ボランティアガイド&ウォーク協会、伊勢原手作り甲冑隊、南公民館学習ボランティア等8団体 ・第13期いせはら市民大学・楽しい講座:大山薪能について、救急講習、文化財見学、市の広報戦略等15講座、延参加者780人 									
C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧									
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
	進捗状況	B	B	B	B	B				
	有効性	A	A	B	B	B				
	効率性	A	A	A	A	A				
後期基本計画期間全体の自己点検評価										
進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず		・生涯学習推進指針の取組項目として掲げる「支援体制の整備」を推進するため、「いせはら市民大学」を市民協働事業として実施し、生涯学習推進リーダーの養成を行いました。							
有効性	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い		・市民活動団体と連携して事業を実施したことで、生涯学習活動を行う立場からの運営ができ、内容の充実を図ることができました。							
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要		・講座の修了生を次年度の実行委員として登用するなど、学習成果を活かす仕組みが機能しています。また、市と実行委員会との役割を明確にすることで、効率的に事業を運営することができました。							
A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方									
	・市民活動団体と行政との協働事業には一定の進捗が見られますが、事業については参加者の固定化や高齢化が見られるため、内容の見直しが必要であり、更に充実した内容となるよう、団体との連携強化も必要です。									

施策	5-1-1	生涯学習への支援と多用な人材活用の促進
----	-------	---------------------

D i a n n 【 計 画 】	No.3	公民館を拠点とする生涯学習の推進						所管	社会教育課	
	目的	幅広い年齢層を対象に、それぞれのニーズに合った公民館講座を実施するとともに市民団体等の活動を支援することにより、多くの市民が積極的に学習活動に取り組むことを目的とします。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
		各種学級、講座の開催	開催回数 7館合計	161講座	153講座	150講座	141講座	142講座	156講座	170講座
		公民館まつりの開催	開催回数 各館/年	1回 (2日間)	1回 (1～2日間)	1回 (2～3日間)	1回 (2～3日間)	1回 (2～3日間)	1回 (2～3日間)	継続実施
	公民館の利用者数	7館合計 年間	261,931人	269,159人	262,460人	262,519人	254,189人	257,107人	270,000人	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> 各公民館において、地域の課題や特色を踏まえた学級・講座を開催することで、生涯学習の機会を提供するとともに市民団体等の自主的な活動を支援し、生涯学習意欲の向上を図りました。 公民館まつりやサークル活動発表会等、日頃の学習成果を発表する機会を設けるとともに、公民館講座では講師に地域の人材を活用する等、学習成果を地域に還元することができました。 具体的な講座として、郷土史研究会による歴史探索ウォーキング、学習ボランティアによる柏餅づくり、日産テクニカルセンター職員による夏休み粘土カー製作、公民館利用団体による体操教室などを実施しました。 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

後期基本計画期間全体の自己点検評価		
進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・計画通りに学級や講座を実施することができました。
A		
有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・各公民館活動推進協議会からの意見や講座等のアンケート結果を反映することにより、幅広い年齢層を対象とした多様なニーズに応じた学習機会を提供することができました。
A		
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・公民館学習ボランティアや各種地域団体との連携により、効率的に講座や事業を実施することができました。
A		

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> 各種地域団体や市民活動団体、行政の他機関等との協働・連携により、幅広い年齢層を対象とした多様な学習機会を提供することが求められるとともに、事業や活動を通して学んだ知識を社会・地域へ還元する機会の充実が課題となっています。 	

施策	5-1-1	生涯学習への支援と多用な人材活用の促進
----	-------	---------------------

P l a n 【 計 画 】	No.4	人権啓発講座・人権セミナーの開催						所管	社会教育課	
	目的	人権を尊重する社会づくりの実現のために、広く市民に人権尊重の精神を啓発するとともに、人権に対する正しい理解と知識を深め、差別と偏見のない地域社会づくりを推進します。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	人権啓発講座・人権セミナーの開催	開催数 (年間)	4回	4回	4回	4回	4回	4回	4回	継続開催
		参加者数	257人	199人	188人	202人	228人	261人		

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>人権に対する正しい理解と知識を深め、差別と偏見のない地域社会づくりに向け、多様なテーマで人権セミナーを開催し、広く市民に人権尊重の精神について啓発に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 H29.5.17(水) 参加者64人「自殺予防と人権」～すてきだね あなたの気づかい 思いやり～ ・第2回 H29.7.12(水) 参加者57人「希望ある明日へ 感染症とハンセン病差別」～差別の歴史を超えて共に生きるために～ ・第3回 H29.11.15(水) 参加者56人「高齢者の人権と虐待防止に向けて」～虐待が起きない、地域づくりのために～ ・第4回 H30.2.14(水) 参加者84人「多文化共生・多文化理解 外国籍につながる人権」 ～難民生活に基づく家庭への平和メッセージ～ 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・計画通りセミナーを実施することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・差別と偏見のない地域社会づくりに向け、広く人権尊重の精神を啓発するとともに、人権に対する正しい理解と知識を深める機会を提供することができました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・社会教育関係団体等を通じて周知を図るなど、効率的に事業を実施することができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・アンケート結果によれば、毎回高い評価をいただいている事業ですが、一層の普及・啓発に向け、今後も多角的な視点により継続的にセミナーを開催する必要があります。</p>	

施策	5-1-2	図書館運営の充実
-----------	-------	----------

D i a n 【 計 画 】	No.1	図書館利用者の利便性の向上	所管	図書館・子ども科学館					
	目的	定期的に図書館に行くことができない利用者に対する利便性の向上を目的としています。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
	予約図書の定期配送、回収	週あたりの配送回数	1回	1回	0回	0回	0回	0回	4回
	公民館への返却ポストの設置	設置数	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	6箇所

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・図書館(本館)に来館することができない方へのサービスです。現在は、定期的な希望者はいませんが、平成29年度中に2件実施されました。サービス利用内容は、本館へ利用希望資料の連絡を頂き、最寄の公民館図書室へ本をお届けし、返却は公民館へ返せます。</p> <p>・本館で利用者が借りた資料を公民館へ返すことができるように、返却ポストを設置することは、回収の問題や費用対効果の面等から、実施には至っていませんが、駅窓口センターと石田窓口センターに返却ポストを設置し、利用者の利便性を図りました。</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	B	B	B	B
	有効性	B	B	B	B	B
	効率性	B	B	B	B	B

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	B	・図書館へ来られない市民への、予約図書配送サービスについては、図書館ホームページ上でも周知を図りました。館外の返却ポストについては、駅・石田窓口センター2箇所のみを継続しました。
	有効性	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
B	・駅・石田窓口センターに返却ポストを設置したことにより、図書館まで図書を返却に来られない市民に対し利便性を図ることができました。	
効率性	<input type="radio"/> 効率的に実施された <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
B	・定期的な予約図書の配送や窓口センターでの返却本の回収は、他課との協力や調整体制をより強化する必要があります。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・図書館へ来館することのできない利用者のための利用方法について引き続き検討します。	

施策	5-1-2	図書館運営の充実
----	-------	----------

D i a n 【 計 画 】	No.2	図書館資料の整備・充実						所管	図書館・子ども科学館	
	目的	子どもから大人までの市民の継続的な読書習慣を奨励し環境を整備する目的で、利用者が要望する資料を積極的に受入れ、また、利用価値の高い寄贈資料等を受入れることで、図書館資料の充実を図ります。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	図書等の購入	年間購入数	5,589冊	7,321冊	7,321冊	7,771冊	8,786冊	7,256冊	7,000冊	
	図書等の寄贈受入れ	年間受入れ数	2,253冊	1,713冊	1,397冊	1,227冊	1,253冊	1,289冊	3,000冊	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> 利用者のリクエスト等を考慮した資料の選定に努めました。 寄贈図書は、郷土資料や利用の見込まれる資料を選書し、汚損・破損のない資料の受入れに努めました。 購入図書: 5, 591冊 購入雑誌: 1, 665冊 寄贈資料: 1, 289冊								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	B	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要

・購入図書の選書と同時に、経年除籍資料の整理を進めました。買い替えが必要な資料の選書を行いました。
 ・市民や利用者の要望を踏まえ、利用のある資料の選書及び提供を行いました。除籍資料の選書にも力も入れ、図書館資料の整理を実施しました。
 ・窓口寄せられる寄贈図書以外にも、郷土資料や、図書館で利用の見込まれる寄贈資料の受入れを積極的に行いました。また、予約の多い資料については、ホームページで寄贈を募集しました。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> 予算内での図書購入や買い替えは、蔵書や書架構成のバランスを考えながら計画的に行う必要があります。また、そのための作業時間、人員の確保に課題があります。 	

施策	5-1-2	図書館運営の充実
----	-------	----------

D i a n 【 計 画 】	No.3	読書の普及・啓発						所管	図書館・子ども科学館
	目的	おはなし会やボランティア育成講座等で、家庭や関係各機関との協働や情報交換を図りながら、市民のニーズに合った効果的な読書普及・啓発活動を推進していくことを目的としています。							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
	子ども向けおはなし会・各種教養講座等の開催	年間開催数	実施	140回	138回	125回	129回	122回	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・ボランティアによる定期のおはなし会や「クリスマス会」、市が主催の「東海学級向けぬいぐるみ図書館員」「一般向けぬいぐるみ図書館員」、「読書マラソン大会」など子どもや親子への読書普及を図りました。また、視覚障がい者向けの「体験映画会」や「対面朗読」、中高生から一般向けには村上春樹をテーマにした大学准教授による教養講座や、古典文学を主題にした「大人のための朗読会」を実施し、様々な市民へ生涯学習の場を提供しました。</p> <p>・市内や図書館で活動している市民ボランティアとの協働事業も多数実施するなど、市民のアイデアやニーズを取り入れた読書普及・啓発に取り組むことができました。</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・子どもや親子向けのおはなし会や、各種教養講座及び読書普及イベントを実施し、市民へ生涯学習の場を提供することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・様々な世代を対象とした事業を立案・実施し、また、市民ボランティアや市内高校生との協働によるイベントを実施することで、生涯学習活動の支援等を行うことができました。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・読書普及を実施するにあたり、市民ボランティアと協働することで、より効率的な活動を行うことができました。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・市立図書館が読書普及活動を推進する中で、市民ボランティアとの協働はとても重要です。また、現在活動しているボランティア団体の活動の維持や活性化を図るためにも、継続したボランティア募集・育成が課題となっています。	

施策	5-1-2	図書館運営の充実
----	-------	----------

D i a n 【 計 画 】	No.4	学校図書館の環境整備への支援						所管	図書館・子ども科学館	
	目的	学校での「総合的蔵書管理システム」の導入に先駆け、図書館の職員が学校図書資料のデータ入力を事前に進めることにより、円滑なデータベース化を図ることを目的としています。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)	
	学校図書のデータベース化	実施校数	小学校0校	小学校0校	小学校0校	小学校0校	小学校0校	小学校0校	小学校0校	小学校3校
			中学校1校	中学校2校	中学校2校	中学校2校	中学校2校	中学校2校	中学校2校	中学校4校

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	・平成29年度は事業の取組みはありませんでした。								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	B	B	B	B
	有効性	B	B	B	B	B
	効率性	B	B	B	B	B

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	有効性	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	効率性	<input type="radio"/> 効率的に実施された <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要

・学校図書館の蔵書管理システムの導入が見送られたため、事業は停止状態でした。

・平成27年度に図書館に導入された新電算システムでは、入力済みの学校図書館資料の検索ができなくなりましたが、データ自体は図書館のサーバーで保存を続けています。

・図書館のサーバーに保存した資料データは、データを読み取り可能なシステムが学校へ導入されれば使用できます。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・学校の専用システム導入に備えます。	

施策	5-1-3	子ども科学館運営の充実
----	-------	-------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	プラネタリウム事業の充実						所管	図書館・子ども科学館	
	目的	プラネタリウムで天体の様子、星座などの投影や解説のほか、天体観測機器を使用して実際の天体を観察することで、子どもたちをはじめとする多くの方々に、天文に関する興味・関心を持つことを目的とします。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 (29年度迄)
		番組投影	投影番組数	4本	5本	5本	5本	5本	5本	5本
		天体観察会「クーデの日」	実施回数	12回	13回 (7回)	16回 (10回)	13回 (7回)	14回 (9回)	14回 (7回)	15回
	ま昼の星を見よう	実施回数	10回	19回 (12回)	13回 (12回)	12回 (9回)	11回 (8回)	14回 (8回)	20回	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容	
	<p>(1) 投影番組数 ・平成29年度は再投影も含め、5本の番組購入をしました。 また、永年投影番組などと併せて、多くの番組を提供しました。</p> <p>(2) 天体観察会「クーデの日」 ・年14回を予定していましたが、天候により7回の実施となりました(参加者延べ563人)。約50%の実施率。</p> <p>(3) ま昼の星を見よう ・年14回を予定していましたが、天候により8回の実施となりました(参加者延べ93人)。約57%の実施率。</p>	

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・天体観察会「クーデの日」や「ま昼の星を見よう」については、天候に影響されることがありましたが、計画どおり実施しました。 ・なお、悪天候対策として一部に予備日を設定しました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・投影番組は、話題性のある番組を採用したこと、また、星座の解説を工夫するなどして天文への興味関心を持てるように努めました。 ・クーデ式望遠鏡などの天体観測機器を使用し、目視ではわかりづらい星の観察を通じて天文教育の一助となっています。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・ボランティア団体である大山天文同好会や支援会員、元職員など、知識・経験がある人材の活用で効率化を図りました。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・プラネタリウムを活用した事業等天文に関する興味・関心を深めてもらえるよう努めます。	

施策	5-1-3	子ども科学館運営の充実
----	-------	-------------

D i a n 【 計 画 】	No.2	学校と連携した取組の推進						所管	図書館・子ども科学館	
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校における理科に関する授業へ子ども科学館職員を派遣し、授業補助を行うことにより、実験、観察等の円滑な実施と充実を図り、児童生徒の授業への理解を深めることを目的とします。 ・市内教職員の理科に関する研修として、教職員を受入れ、資質向上や科学に対する理解の深まりと興味・関心を高めることを目的とします。 								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	理科支援員の派遣回数	年間派遣回数	49回	33回	16回	18回	16回	1回	50回	
	教職員の受入れ	年間受入数	7人	4人	15人	6人	7人	6人	10人	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>(1)理科支援員派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業準備・補助、安全指導等のため、理科支援員を1回派遣しました。 <p>(2)教職員研修受入事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内教職員6人に対し、科学実験の準備・指導等の理科に関する研修を行いました。 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	B	B	B	B
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	B	B	B	B

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
	効率性	<input type="radio"/> 効率的に実施された <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要

・学校からの要請と科学館の受入体制との日程調整の中で、今年度の派遣が1回にとどまりました。

・科学の事業に従事し、知識のある職員を派遣することで、学校の理科教育を支援することができました。

・多様な学校の要請に対応できるよう、従事する職員のスキルアップを図っています。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の要望に対応できるような事業を検討します。 	

施策	5-1-3	子ども科学館運営の充実
----	-------	-------------

D i a n n 【 計 画 】	No.3	地元企業や大学、ボランティアと連携した取組					所管	図書館・子ども科学館		
	目的	<ul style="list-style-type: none"> 企業展示は、社会における科学の実践を展示して、多くの人に科学に対する興味・関心を持っていただき、さらに企業活動への理解と認識を深めていただくことを目的とします。 ロボットフェスティバルは、子どもたちの育成に熱意のある人に子ども科学館のロボット事業に参画していただくことで、より一層の事業充実・強化を図ることを目的とします。 								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
		「企業展示」への協力	協力企業数	2社	1社	1社	1社	2社	3社	継続実施
		ロボットフェスティバルへの参画	学校数 協力企業数	1校	9校 1社	9校 1社	9校 2社	9校 2社	9校 3社 (2機関)	4校

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> 企業展示として、株式会社京商による「ドローン」の体験操縦とMANOI企画による「ロボットの体験操縦」、株式会社ヤマティックによる「ペッパー」の体験を行い、多くの子どもたちが参加しました。 特に「ドローン」の体験操縦は、室内で実施したため、「飛ぶ高さ」や「飛ぶ範囲」を設定しての体験だったため、安全性などについても十分配慮しての取組を行いました。 8月は3社の企業、東海大学・東京工芸大学・神奈川工科大学・県立西湘高校・県立平塚工科高校、県立青少年センター、さがみロボット産業特区推進センターに参加・協力をいただき、延べ2,070人の参加がありました。 また、期間内には、神奈川工科大学の協力により、科学工作教室「ロボットプログラミングにチャレンジ」を行いました。 12月には1企業と市内4中学校科学部の日ごろの活動とその成果の発表・紹介を行い、延べ324人の参加がありました。 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・企業展示やロボットフェスティバルについて、企業や学校の協力を得て、計画通り実施することができました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・毎年、ロボットの操作体験は、基本動作など企業や高校・大学生の指導を受けることができ、ロボットの技術などを身近に感じる体験ができました。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・ロボットフェスティバルでは最新の技術を展示することで地元企業の振興を図ると共に、市内外の高校生、大学生の研究成果の発表の場を設け、ロボット技術の紹介をすることによって科学への興味・関心を高めることができました。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・各種事業をとおして、子どもたち等に科学に興味・関心を持っていただくよう努めます。	

施策	5-3-1	文化芸術活動の推進
----	-------	-----------

P l a n 【 計 画 】	No.1	市民活動の発表・文化芸術鑑賞機会の提供					所管	社会教育課		
	目的	「いせはら市展」、「市民文化祭」等の開催により、多くの市民が学習成果の発表や優れた芸術作品を鑑賞することができ、「市民音楽会」、「伊勢原美術協会展」の開催により、地域の音楽家や芸術家の優れた芸術活動に触れ、文化芸術の普及と発展を図ります。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
		いせはら市展の開催	出品数 入場者数	198点 1,824人	245点 1,880人	226点 1,776人	239点 1,984人	242点 1,764人	234点 1,629人	継続開催
		伊勢原市民文化祭の開催	催事数 入場者数	34催事 14,144人	34催事 11,278人	34催事 11,333人	34催事 9,439人	34催事 10,017人	34催事 8,674人	継続開催
		市民音楽会の開催	入場者数	341人	406人	526人	574人	650人	597人	継続実施
	伊勢原美術協会展の開催	展示作品数 入場者数	— 1,410人	31点 1,474人	36点 1,651人	35点 1,270人	33点 1,350人	33点 1,350人	継続実施	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容									
	<p>市民の文化芸術活動の成果を発表する機会と身近に鑑賞する機会を提供し文化芸術の向上に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第22回いせはら市展 4部門(絵画・彫刻・書、写真、陶・工芸)の作品展示、記念講演会の実施 ・第53回伊勢原市民文化祭 展示:12催事、大会:3催事、イベント:5催事、発表13催事 ・第31回姉妹都市茅野市文化交流展(会場:伊勢原市) ・第29回市民音楽会 出演者:伊勢原市音楽家協会会員等27人 ・第33回伊勢原美術協会展 									

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	B	B	B	B	B

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・計画通りに事業を実施し、活動成果の発表の機会や文化芸術の鑑賞の機会を提供しました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・日ごろの活動成果を発表する場や身近な場で文化芸術に親しむ機会を提供することにより、文化芸術に対する市民の関心が高まり、文化の香り高いまちづくりに貢献しています。
	効率性	<input type="radio"/> 効率的に実施された <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・専門的に活動する団体へ事業委託することで、効率的な運営や内容の充実を図ることができましたが、安定して事業を続けるには、協賛金の手法を活用するなどの検討が必要です。

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・文化芸術活動の推進に向け、継続して事業を実施していきます。事業の実施にあたっては、より多くの市民に出品・鑑賞していただけるよう周知方法等を検討します。また、中央公民館の展示ケースを活用し、委託事業を盛り上げるような関連展示を実施するなど、新たな試みを取り入れながら文化芸術作品の鑑賞の機会を充実させていきます。</p>	

施策	6-1-1	文化財保護・市史編さんの推進
----	-------	----------------

D i a n 【 計 画 】	No.1	国指定重要文化財・宝城坊本堂保存修理への支援					所管	教育総務課 (歴史文化担当)		
	目的	平成22年に文化庁は、宝城坊を事業者とする保存修理事業の申請を認め、国庫補助事業として宝城坊本堂の保存修理工事の実施を決定しました。事業の目的は、重要文化財である本堂を健全な状態に復旧して、地域の歴史を物語る文化遺産としての価値を高め、将来に継承していくことです。伊勢原市としては、その事業の意義を認識し、地元自治体として事業の支援を行うものです。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
		宝城坊本堂保存修理工事	進捗状況	解体工事完了	基礎工事 木工事	木工事 組立工事	屋根工事 木工事等	事業完了	28年度に 目標達成	工事完了 (28年度)
		見学会・講演会等の開催	参加者数	160人	99人	422人	530人	391人	28年度に 事業完了	500人 (28年度終了)

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容									
	本事業は平成28年度をもって終了しました。									

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	A	A	A	平成28年度に終了
	有効性	A	A	A	A	平成28年度に終了
	効率性	A	A	A	A	平成28年度に終了

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価					
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	<input checked="" type="radio"/> 保存修理事業は、文化庁の指導を受けながら、計画どおりに実施されました。 <input checked="" type="radio"/> 事業期間中において、所有者、関係者の協力を得ながら、市の直営事業として修理現場の見学会を12回、修理内容を解説する講演会を4回実施しました。また、各種の展示会や市のホームページでも情報発信に努めました。			
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	<input checked="" type="radio"/> 市域で最も指定文化財が集中している宝城坊のなかでも、本堂はその中心的な存在です。認定を受けた日本遺産の構成文化財でもある宝城坊の本堂を良好な状態に修理し、将来に継承していくことは、文化財の保護のみならず、地域活性化の面からも意義が高いと考えられます。			
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	<input checked="" type="radio"/> 保存修理事業は、文化庁の指導のもと、文化財の保存と継承の理念に基づき実施されました。 <input checked="" type="radio"/> 見学会の開催に際しては、所有者、工事関係者、さらに養成した歴史解説アドバイザーに協力いただきました。			

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方				
	<input checked="" type="radio"/> 本事業は、平成28年度をもって終了しましたが、約270年ぶりに甦った本堂については、多くの文化財が集中する日向地区にあってもその中心的な存在であることから、本市の文化財保護のシンボリックな活用を図っていく必要があります。所有者、地域の協力をいただきながら、修理事業で得られた新たな歴史的事実の公開と情報発信、また、観光事業者との連携による地域活性化等に取り組んでいきます。				

施策	6-1-1	文化財保護・市史編さんの推進
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.2	市史編さん事業の推進						所管	教育総務課 (歴史文化担当)	
	目的	伊勢原市の歴史的発展過程を顧みて、将来における本市の進むべき方向を展望し、郷土伊勢原に対する市民の関心を高めるとともに、資料を永く後世に残すことを目的とします。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	通史編近現代の刊行	進捗状況	執筆準備	原稿執筆	第12巻刊行	平成26年度に刊行	平成26年度に刊行	平成26年度に刊行	刊行	
	ダイジェスト版の作成	進捗状況	検討	検討	検討	編集方針決定	構成の決定・執筆準備	原稿完成	原稿完成	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・平成29年度は調査及び会議を計7回開き、全体構成の作成と各執筆委員による担当部分の文章化、全体の調整を行いました。原稿の執筆は終了し、平成30年度の刊行へ向けた見通しが立った状況です。</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・平成26年度に市史最終巻である通史編近現代を刊行しました。その後、ダイジェスト版の編集を開始し、平成29年度までに原稿が完成しました。30年度刊行へ向け、事業は計画どおり進んでいます。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・市民の広い層に伊勢原の歴史をわかりやすく伝えるため、ダイジェスト版の刊行に向けた作業を進めました。また、既に刊行されている「伊勢原市史」の総点検により、戦前的大山に関する資料等新たな発見もあり、ダイジェスト版に生かしていきます。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・編集に当たっては、会議の開催回数が限られる中、効率的にダイジェスト版の刊行へ向けた作業を進めることができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・伊勢原市史の編さん事業がスタートして30年が過ぎ、この間に新たな資料の発見や調査・研究の進展がありました。ダイジェスト版の編集に当たっても、それを踏まえた対応が必要となります。また、今後も進むべき地域づくりへの貢献を図るため、情報の収集と調査、さらに効果的な情報発信に努めていきます。</p>	

施策	6-1-1	文化財保護・市史編さんの推進
----	-------	----------------

D i a n 【計画】	No.3	文化財保管施設の整備						所管	教育総務課 (歴史文化担当)	
	目的	市内の文化財の散逸を防ぎ、安定的に収集、保管、管理するために、文化財の保管施設の確保を目指します。								
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 29年度まで	
	保管施設の整備	進捗状況	情報収集	情報収集	情報収集	情報収集 一部整備	情報収集 再整理	情報収集 一部修理	施設整備	

D o 【実行】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> 文化財の保管については、資料の整理を行い、スペースの有効利用を図りました。 市民から寄附を受けた敷地と建物については、適切な維持管理を図りながら、展示会、講座、文化財資料の整理等を進め、施設の有効活用を図りました。 								

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	B	A	A	B
	有効性	A	A	A	B	B
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input type="radio"/> 計画どおり <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	<ul style="list-style-type: none"> 保管スペースについては、資料の整理、統合を進め、集約化を図りました。 新たなスペースの確保としては、市民から土地、建物の寄附を受け、文化財の保管、展示施設としての利用を図っていますが、施設の整備には至りませんでした。
	有効性	<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	<ul style="list-style-type: none"> 寄附いただいた施設については利用価値が高く、今後の検討により将来の有効活用を図ることが可能です。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理については、必要最低限の経費で実施しました。

A c t i o n 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、第2期教育振興基本計画においては、文化財保管施設を含む展示施設、(仮称)郷土資料館の整備事業として検討を進めていきます。 	

施策	6-2-1	歴史・文化の魅力発見と情報発信の推進
----	-------	--------------------

D i a n 【 計 画 】	No.1	文化財情報の発信						所管	教育総務課 (歴史文化担当)	
	目的	文化財をより積極的に活用していくために、収集した資料、データを広く公開し、関連する情報の発信に努め、地域資産としての文化財の価値と意義の理解を促し、市民が地域への関心を高めることを目指します。「市民の力で文化財を護り育てる」という文化財保護意識の向上を目指し、文化財や歴史についての理解を深め、地域でその価値をアピールする人材を育成します。								
	事業	指標	当初値	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績	目標 29年度まで	
	伊勢原文化財HPサイトによる情報提供	掲載メニュー数	9メニュー	9メニュー	10メニュー	12メニュー	14メニュー	15メニュー	12メニュー	
	伊勢原文化財HPサイトアクセスの拡大	年間アクセス数	5,396件	8,062件	8,575件	7,559件	8,066件	6,531件	8,000件	
	認定者数	70人	70人	70人	70人	97人	97人	100人		

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<p>・平成29年度当初に14件となっていた「いせはら文化財サイト」のメニューに、平成28年度に認定された日本遺産や竣工なった宝城坊本堂の保存修理事業を紹介する映像を公開するための「文化財映像ライブラリー」を追加し、掲載内容の充実を図りました。平成29年度は、トップページのアクセス数では前年を下回りましたが、各メニューの総アクセス数では増加しており、関心の高さは継続していると考えられます。ただし、一部の情報更新については、遅れが見られました。</p> <p>・歴史解説アドバイザー養成講座は第5期の講座を開始し、新たに23名を養成中です。</p>								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	B	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	<p>・ホームページのメニューは目標どおり制作することができ、各ページの総アクセス数も増加しています。</p> <p>・職員手作りのホームページであることから、更新手続きが容易である反面、手のかかるページについては更新が遅れがちとなっています。</p>
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	<p>・映像で文化財を紹介する「文化財映像ライブラリー」の追加により、掲載内容の幅が広がり、視覚的に訴えるメニュー構成となりました。</p> <p>・文化財に関するイベント情報等の掲載により、市民の参加を促し、活動を活性化することができています。</p>
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	<p>・職員によるメニューづくり、ホームページ管理により、効率的に実施することができています。また、歴史解説アドバイザー養成講座では、資料代、外部講師料について参加者に費用負担をお願いしています。</p>

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・ホームページについては、現行の構成、内容を見直しながら、閲覧者の幅を広げ、伊勢原を訪れてみたいと思わせるようなブラッシュアップが必要です。また、日本遺産の認定を踏まえ、海外へも情報を発信していくため、ホームページの英語表記を進める必要があります。</p> <p>・地域の文化財に携わる人材育成については、引き続き歴史解説アドバイザーの養成と市民団体の活動の支援に取り組んでいきます。</p>	

施策	6-2-1	歴史・文化の魅力発見と情報発信の推進
----	-------	--------------------

D i a n n 【計画】	No.2	文化遺産と観光を結びつけた地域の活性化	所管	教育総務課 (歴史文化担当)
-------------------------------	------	---------------------	----	-------------------

目的	観光部局等と連携を図りながら、文化財、文化遺産をより積極的に活用し、伊勢原への関心を高めるとともに、文化財を生かした地域の活性化を図ります。			
----	--	--	--	--

事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
展示室の整備	進捗状況	調査・検討	検討	検討	検討	検討	検討	展示室の整備及び運営
散策コース設定、標柱及び案内板の設置	コース設定	コース設定	検討	案内板設置	案内板標柱設置	案内板設置	案内板設置	随時設置
文化財マップ作成	調査・検討	調査・検討	検討	マップ完成	マップ配布	マップ配布	マップ配布	マップ完成
文化遺産を活用した見学会、講座、各種催し物	年間参加者数	2,164人	3,033人	3,986人	3,924人	5,319人	5,680人	3,600人

D o 【実行】	平成29年度の取組内容			
	<p>・新たに認定した27名を加え、総数97名となつたいせはら歴史解説アドバイザーの協力を得ながら、文化財ウォーク、講演会、展示会、特別公開等を実施しました。また、市民から寄附いただいた施設を利用して日本遺産の紹介と文化財関連市民団体の活動成果を発表する「文化財フェスタ2017秋」「文化財フェスタ2018春」を開催しました。</p> <p>【文化財活用事業への参加者数】 (1)学校への出前授業(9校、19回)1,623人 (2)公開展示(14回)1,317名 (3)見学会(2回)368人 (4)講演会・報告会(10回)263人 (5)文化財ウォーク(9回)188人 合計5,680人</p>			

C h e c k 【評価】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	B	B	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【評価】	後期基本計画期間全体の自己点検評価		
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず	・散策コースの整備事業では、継続的に文化財の解説板を設置しました。学校への出前授業等の定例事業に加え、新たに指定された大山こまの製作実演や日本遺産に関連する展示会、かながわ考古学財団との共催による発掘調査現場の公開を実施しました。その結果、目標を上回る参加者となりました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い	・文化財の見学会、展示会、ウォーク等は市外からも参加を得ています。学校現場への出前授業では、地域素材を活用した歴史授業を行っています。また、日本遺産に関連する事業は、市内外に対して伊勢原への関心を高めていくことへつながっています。
	効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	・県、財団等の他組織、市民団体との連携により、それぞれの専門性を生かしながら事業を実施しました。養成した歴史解説アドバイザーが各種団体で中心的な働きをされており、文化財の活用事業を推進する上で、大きな力となっています。

A c t i o n e 【改善】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<p>・日本遺産協議会や歴史文化を活用した地域づくり協議会で実施していく文化財の公開・活用事業との調整を図り、相互に補完する形で事業を展開していく必要があります。</p> <p>・地域で活動する市民団体との協働を図りながら、その支援を充実させていく必要があります。</p> <p>・商工観光課、地域の観光振興会、地域で活動する民間事業者など観光部局との連携を図り、文化財の保護を地域の活性化へとつなげていくことが必要です。</p>	

施策	7-1-1	教育委員会活動の充実・活性化
----	-------	----------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	教育委員会(教育委員)活動の充実						所管	教育総務課	
	目的	市民に教育委員会の役割や活動内容を理解してもらうため、積極的な教育委員会の情報公開とPRを行い広く活動内容を周知し、より市民から信頼される教育委員会を目指します。								
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで	
	関係機関との情報交換及び視察	年間開催数	3回	6回	6回	8回	7回	10回	5回	

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会議(13回)、定例研究会(12回)、総合教育会議(1回)、点検評価会議(2回)、県市町村教育委員会連合会総会及び研修会における意見交換(2回) ・学校訪問(比々多小、伊勢原中、高部屋小)や学校研究発表会(伊勢原小、大田小)、人権教育指定研究校報告会(高部屋小)時の教職員との情報交換(5回) ※上記のほか、小中学校卒業式、各種教育委員会関連行事や成人式等の行事へ参加 ※広報紙「きょういく伊勢原」の発行(1回) 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	B	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・他自治体の教育委員や教職員との意見交換が図られるとともに、各種行事への参加に際し、関係機関・団体関係者との有意義な意見交換が図られました。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・様々な機会を通じた情報交換により多くの情報を得ることができ、本市の教育委員会運営及び事業執行に資することができました。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・各取組が効率的に実施できました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新教育委員会制度に移行し、市長と教育委員会が協議・調整することにより、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたる事が可能になりました。 ・今後も、総合教育会議の開催等により、市長と教育委員会との情報共有及び連携を図ります。 	

施策	7-1-2	教育委員会の危機管理の徹底
-----------	-------	----------------------

D l a n 【 計 画 】	No.1	危機管理の徹底・強化						所管	教育総務課
	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会として危機管理を徹底し、危機的事態の発生に至る前の予防的措置を徹底します。 ・危機的事態が発生した場合において、適切な対応を図り、児童生徒や一般市民の人的被害及び学校やその他の教育施設への被害の拡大防止に努めます。 							
	事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
	「危機管理の手引き」に基づく対応の徹底	取組状況	実施	マニュアルの見直し	実施	実施	実施	実施	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容								
	<ul style="list-style-type: none"> ・台風等の発生に際し、学校施設をはじめとする教育施設の早期点検を行い、各施設の安全確保に迅速に対応しました。 ・教育施設への爆破予告事件に際し、各施設の点検を迅速に行いました。 ・児童生徒及び教育施設利用者並びに教職員の事故等について、「教育委員会における危機管理の手引き」に従い、迅速な情報伝達・情報共有により各種事案に対応しました。 								

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	A	A	A	A
	効率性	A	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画どおり ○ 概ね計画どおり ○ 計画どおり進捗せず
	A	・日頃から、教育委員、教育委員会職員、教職員等が危機意識を持ちながら業務に取り組みました。
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> ● 高い ○ 普通 ○ 低い
A	・「教育委員会における危機管理の手引き」が情報収集・伝達・共有に際し、有効に機能しました。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ● 効率的に実施された ○ 改善の余地がある ○ 抜本的な改善が必要 	
A	・各種事案に対し効率的な対応が図られました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・様々な危機的事態に対処するため、今後も継続してあらゆる方向から対応について検討していきます。	

施策	7-1-3	教育振興基本計画の進行管理
----	-------	---------------

P l a n 【 計 画 】	No.1	教育委員会事業の点検・評価						所管	教育総務課	
	目的	毎年、教育振興基本計画の点検評価を行い、計画に対する実行、それに対する評価、評価を踏まえた次への改善によるPDCAサイクルの実践を図り、有効かつ効率的な事業の執行を図ります。								
		事業	指標	当初値	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	目標 29年度まで
		教育委員会点検・評価の実施・結果の公表	実施状況	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施

D o 【 実 行 】	平成29年度の取組内容									
	<p>(点検評価の実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己点検評価として、取組ごとの点検評価シートに従い教育委員会事務局による点検評価を各所属で行った後、教育委員による点検評価の会議を2回実施しました。 (報告書の作成及び公表) 学識経験者からの総括的な意見を加えて報告書としてまとめました。また、議会への報告を経て公表しました。 									

C h e c k 【 評 価 】	各年度の評価一覧					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗状況	A	A	A	A	A
	有効性	A	B	A	A	A
	効率性	B	A	A	A	A

C h e c k 【 評 価 】	後期基本計画期間全体の自己点検評価	
	進捗状況	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり <input type="radio"/> 概ね計画どおり <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず
	A	・例年、スケジュールに沿って点検評価が実施できています。
	有効性	<input checked="" type="radio"/> 高い <input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い
A	・PDCAサイクルに基づき点検評価を実施し、事業が有効に機能しています。	
効率性	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施された <input type="radio"/> 改善の余地がある <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要	
A	・効率的な事務運営を図りながら点検評価を実施することができました。	

A c t i o n 【 改 善 】	第2期教育振興基本計画に向けた考え方	
	・評価基準を明確にし、効率的な事務運営とシンプルで分かりやすい点検評価となるよう改善を図ります。	



平成30年度（平成29年度対象）
教育委員会点検評価報告書

発行年月 2018年10月

発行 伊勢原市教育委員会

編集 教育総務課

〒259-1188 伊勢原市田中 348 番地

TEL : 0463-94-4711 内線 5110・5116

FAX : 0463-95-7615